逃げ遅れゼロへ！　家の避難計画　マイ・タイムライン　作成年月日　年　月　日

平常時 → 大雨のおそれ → 避難開始時期 → 災害発生

5段階の警戒レベルと防災気象情報

大雨発生の可能性

○早期注意情報(警報級の可能性)

警戒レベル１　気象情報
早期注意情報

重大災害の兆候

○危険度分布「注意」(黄)*○氾濫注意情報○大雨注意報○洪水注意報
○高潮注意報(警報に切り替える可能性に言及されないもの)

警戒レベル２　気象情報
大雨・洪水注意報

○洪水警報
○氾濫警戒情報
○危険度分布「警戒」(赤)*
○高潮注意報(警報に切り替える可能性が高い旨に言及されるもの)
○大雨警報(土砂災害)※1
※1　夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル３に相当します。

警戒レベル３　町発令の避難情報
避難準備・高齢者等避難開始

災害発生のおそれ

○土砂災害警戒情報○危険度分布「非常に危険」(うす紫)*
○氾濫危険情報○高潮特別警報○高潮注意報※1
※１暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難が必要とされる警戒レベル４に相当します。

警戒レベル４　町発令の避難情報
避難勧告

災害のおそれの高まり

○危険度分布「極めて危険」(濃い紫)*

警戒レベル４　町発令の避難情報
避難指示(緊急)

○氾濫発生情報
○大雨特別警報※１
※１これまでに経験したことのないような降水量の大雨が見込まれる際の大雨特別警報を指します。

災害発生

警戒レベル５　町発令の避難情報
災害発生情報

避難の準備・確認・とるべき行動

●災害への心構えを高めよう　警戒レベル１で確認

防災気象情報等の最新情報に注意するなど、災害への心構えを高めましょう。

●避難する場所　警戒レベル２で確認

大雨時に避難することを踏まえ、事前に避難先や避難方法を考えましょう。

避難先①：	避難先②：
避難方法：	避難に要する時間：

●避難開始のタイミング　警戒レベル２で確認

災害リスク、避難場所や避難経路、避難のタイミング等の再確認、避難情報の把握手段の再確認・注意など、避難に備え自らの避難行動を確認しましょう。

●避難情報の収集手段　警戒レベル２で確認

□町防災行政無線　□緊急エリアメール　□町ホームページ
□Twitter(ちょこっと女川お知らせツイート)

➡警戒レベル３　避難準備・高齢者等避難開始　町発令の避難情報

避難に時間のかかる高齢者等要配慮者(妊娠中の方やお子様連れの方を含む)は立退き避難をしましょう。その他の方は立退き避難の準備をし、自発的に避難しましょう。

➡警戒レベル４　避難勧告　町発令の避難情報

指定避難場所等への立退き避難を基本とする避難行動をとりましょう。
災害が発生するおそれが極めて高い状況等で、指定避難場所への立退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、近隣の安全な場所への避難や建物内のより安全な部屋への移動等の緊急の避難をしましょう。

➡警戒レベル４　避難指示(緊急)　町発令の避難情報

災害が発生するおそれが極めて高い状況等で、緊急的又は重ねて避難を促す場合に町から発令するものです。発令時の避難行動は避難勧告発令時と同様となります。

➡警戒レベル５　災害発生情報　町発令の避難情報

既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとりましょう。

考えてみよう避難のポイント

1. 台風や大雨を想定し、雨が強くなる前に、必要な事前準備を考えましょう。

□
□
□
□
□

●いざ避難という時、慌てることの無いように、「戸締りをする」など具体的な行動をまとめましょう。

2. 避難する際の注意点を考えましょう。

□
□
□
□
□
□
□

●避難所に向かうなど、自宅以外に避難する場合は雨が強くなる前に避難することを心がけましょう。

避難対象区域の方は、
この時点までに全員避難

●特別警報が発表されたときは、経験したことのないような大雨や暴風など異常な現象が起きる状況であるため、ただちに避難情報に従うなど、適切な行動をとることが重要です。
●自分の状況を家族や親戚等に連絡しましょう。

* 危険度分布について　気象庁ホームページ URL http://www.jma.go.jp/jma/m_index.html

万が一に備えて非常持出品の準備をしましょう

□貴重品(預金通帳、印鑑、現金、健康保険証等)	□避難用具 (携帯電話、懐中電灯、携帯ラジオ、充電器等)	□生活用品(厚手の手袋、毛布等)
□救急用具(絆創膏、包帯、消毒薬、常備薬等)	□非常食品(飲料水、カップ麺、缶詰等)	□衣料品(衣類、下着、防寒着等)
□	□	□
□	□	□

●乳児のいるご家庭は、ミルク、紙おむつ、ほ乳瓶なども用意しておきましょう。
●避難をする場合は、持ち出す荷物を最小限に留め、リュックサックを使用するなど、両手が自由に使えるようにしましょう。
※空いているところに必要なものを記入し、万が一の災害に備えましょう。

【家族データ】家族が別々に避難してしまったときのために

名　前	電話番号	必需品	昼間の居場所	備考